

令和 5 年度		3 学年		普通 科	
教科名	理科	科目名	化学		4 単位
1. 学習目標					
化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。					
2. 使用教材等					
・教科書名 実教出版 化学 新訂版					
・副教材名 実教出版 アクセスノート化学 実教出版 サイエンスビュー化学総合資料					
3. 学習項目 c					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	第1章物質の状態と平衡 気体、固体、溶液	ボイル、シャルル、状態方程式 結晶、溶解、希薄溶液、コロイド	40	中間考査
	5	第2章化学反応とエネルギー 反応の速さとしくみ	反応速度		
	6	化学平衡	化学平衡と電離平衡		
	7	第3章無機物質 周期表 非金属元素	非金属元素の単体と化合物を周期表と関連付けながら理解する。		期末考査
2	8	金属元素	金属元素の単体と化合物を性質や反応について理解する。	28	中間考査
	9				
	10	無機物質と人間生活	有機化合物の性質や反応を観察・実験を通じて理解する。	36	期末考査
11	第4章				
	12	有機化合物			
3	1	第5章 高分子化合物	高分子化合物の性質や反応を理解する。	36	期末考査
	2				
	3				
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを 探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。				
②思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現 している。				
③観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの 科 過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学 的に探究する技能を身に付けている。				
④知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理 解し、知識を身に付けている。				
5. 評価の方法					
・定期考査：	中間考査、期末考査を行う。評価基準点に達しない場合は単位認定を行わない。				
・課 題：	通常授業内のプリントの提出状況を成績に反映させる。				
・授業態度：	出欠席や遅刻早退の状況を中心に考慮する。				
・実験レポ-ト：	レポートの結果や考察・感想の的確さを点数化して評価します。				
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の周りにある身近な物質がどんな性質を持っているか興味を持ちながら学習しましょう ・化学は物質の性質を調べる学習をします。まず、物質の名前の基本である元素記号、化学式、イオンを正確に覚えることから始めましょう。また、化学で使う計算は比例計算がほとんどです。割り切れる値ばかりではないので、基本的な四則計算は間違えないようにしましょう。 ・理系希望者は必修科目です。2年時から継続して学びます。 					